

令和6年度 上田市指定管理者モニタリング評価調書

【施設概要】

施設名称	上田市母子寮		
指定管理者名	社会福祉法人 原峠保養園	料金制導入区分	使用料(直接収納)
指定管理期間	令和6年4月1日 ~ 令和11年3月31日 (5年間)		
施設所管課	健康こども未来部 子育て・子育ち支援課	担当者(内線)	65-108
設置目的	配偶者のない女子又はこれに準ずる事情にある女子及びその者の監護すべき児童を入所させてこれらの者を保護するとともに、これらの者の自立の促進のためにその生活を支援し、あわせて退所した者について相談その他の援助を行う		
指定管理者が行う業務内容	1.入所者の保護、支援 2.入所者の自立支援 3.退所後の支援 4.寮内保育 5.児童、生徒の育成 6.就労支援 7.施設及び設備の維持管理		

管理業務 の状況	作業項目	作業内容	回数	実施日	実施状況
	日常清掃	日常的な館内清掃	1日1回以上	毎日	職員が実施
	定期点検	給排水、電気、ガス設備の点検	1日1回以上	毎日	職員が実施
	消防設備点検	有資格者による法定点検	年2回	7月・1月	専門業者に委託
	その他設備点検	受水槽の点検、清掃等	年1回	2月	専門業者に委託

職員の 配置状況	役職等(職務内容)			計画	実績
	施設長			1人	1人
	母子支援員			6人	6人
	少年指導員兼事務員			2人	2人
	調理員			1人	1人
	嘱託医			1人	1人

施設の 利用状況	利用区分等	設定目標値	R6年度実績	達成率	R5年度実績	前年度比
	入所施設	※設定なし 人	16122 人	%	14857 人	108.5 %
		人	人	%	人	%
		人	人	%	人	%
		人	人	%	人	%
	開館日数	365 日	延べ利用者数 (R6)	16,122 人	一日あたり利用者数	44 人

(施設所管課による評価)
生活困窮、DV等の困難な課題を抱え、福祉事務所の措置により入所した母子を保護し、生活基盤の安定に向けた就労支援や、親子関係の再構築など自立に向けた支援のほか、施設退所後の相談にも応じている。入所者の環境が複雑・多様化している中で、支援内容も多岐にわたっているが、これまでの施設運営のノウハウや専門職の配置などにより支援体制が確保されている。

自主事業 の状況	事業・イベント名(内容)			開催日時	参加者数
	(施設所管課による評価)				

【収入・支出の状況】

(金額単位:円)※ 消費税額含む

		項目	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	令和6年度 決算額	備考
指定管理者	収入	指定管理料	62,203,848	63,741,010	68,120,000	74,253,450	
		事業収入	66,730	763,762	0	0	
		その他	2,826,642	3,307,355	3,010,300	3,478,441	
		計	65,097,220	67,812,127	71,130,300	77,731,891	
	支出	人件費	49,838,762	44,827,980	54,240,000	52,547,372	
		事業費	7,722,305	8,140,675	7,915,000	7,845,599	
		事務費	4,258,078	4,441,831	5,010,000	4,813,012	
		その他		305,079		152,539	
		計	61,819,145	57,715,565	67,165,000	65,358,522	
	差引		3,278,075	10,096,562	3,965,300	12,373,369	
自主事業	収入						
		計	0	0	0	0	
	支出						
		計	0	0	0	0	
	差引		0	0	0	0	
市	歳入	入所分担金	30,005,187	27,300,591	36,489,000	36,489,766	
		国庫補助金	16,224,865	18,043,609	19,824,000	19,824,034	
		県費負担金	7,814,077	9,021,805	9,435,000	9,435,621	
		利用者負担金	138,600	80,400	21,000	21,200	
		計	54,182,729	54,446,405	65,769,000	65,770,621	
	歳出	指定管理料	62,137,118	63,741,010	74,254,000	74,253,450	
		計	62,137,118	63,741,010	74,254,000	74,253,450	
		差引	▲ 7,954,389	▲ 9,294,605	▲ 8,485,000	▲ 8,482,829	
総合計			▲ 4,676,314	801,957	▲ 4,519,700	3,890,540	

令和6年度 上田市指定管理者モニタリング評価調書

評価項目	判断基準	評価
施設管理	事業計画等に基づき、施設運営に必要な人員と有資格者が配置されているか。 責任者や指揮命令系統は明確か。	○
	条例に基づく「開館(場)時間」や「休館(場)日」が遵守されているか。	○
	事業計画等に基づき、利用者が快適に利用できるよう、施設の清掃や整理整頓が行われているかどうか。	○
	施設の利用状況等に応じて、適切な使用量となっているか。 (※電気・ガス・水道・燃料の使用がない施設は評価対象外)	○
	省エネ、温室効果ガス削減やごみの減量化・分別を行っているか。	○
	消防設備は法令等に基づき点検が行われているか。避難経路に障害物はないか。 (※消防設備が不要な施設は評価対象外)	○
	事業計画等に基づき、施設や設備の点検、必要な修繕が適切に行われているか。	○
	備品に過不足がなく、適切に管理されているか。	○
財務状況	第三者への業務委託は適正に行われているか。	○
	条例や基本協定書に規定する事業計画書や事業報告書等の書類が遅滞なく提出されているか。また、内容は適切か。	○
	収支予算に基づき、必要な収入が確保されているか。	○
	収入増に向けて、PR等の取組が行われているか。	○
	料金の徴収や減免等の手続が適切に行われているか。	○
安全対策・危機管理	収支予算に基づき、予算の範囲で適切な支出が行われているか。 施設運営に不要な経費の支出がないか。	○
	経理帳簿や伝票等の保管、現金の取扱は適切に行われているか。	○
	管理費用の執行状況は適正か。	○
	利用者名簿等の個人情報が適切に管理されるとともに、職員研修の実施等、漏洩防止の対策が講じられているか。	○
利用者サービス	施設や金庫等の鍵・暗証番号等、施設管理上の秘密の管理者や管理方法が明確であり、適切に管理されているか。	○
	緊急・災害時の対応マニュアルや連絡体制が整備されるとともに、避難訓練等、必要な取り組みが行なわれているか。	○
	危険箇所の把握や対応マニュアルの策定等、事故防止や安全確保のために必要な対策が講じられているか。	○
	管理業務仕様書と基本協定書で指定する施設賠償責任保険に加入しているか。 (※加入不要な施設は評価対象外)	○
	アンケート調査や意見箱等により、利用者からの意見や苦情等を把握し、施設運営に反映する仕組が整っているか。	○
従業員の労働条件	対応する職員によって提供するサービスに差が生じないよう、職員に対する研修等、適切な対応が行われているか。	○
	利用者が気持ちよく利用できるよう、接客マナーや施設利用に係るサービスは適切であるか。	○
	特定の利用者を優遇したり、利用を制限していないか。	○
	労働契約書(労働条件通知書)が適正に整備されているか。	○
	法定三帳簿(労働者名簿、出勤簿、賃金台帳)が適正に整備されているか。	○
個別事項	就業規則が適正に整備されているか。	○
	36協定が適正に締結されているか。	○
	労働時間の管理は適正か。	○
	賃金の管理は適正か。	○
	年次有給休暇の運用・管理は適正か。	○
	社会保険・労働保険に加入しているか。	○
	安全衛生の管理体制は適正か。	○
	(施設所管課の評価)※「△」や「×」の評価がある場合は、改善対応を記載	

令和6年度 上田市指定管理者モニタリング評価調書

(1)令和6年度(令和6年4月1日～令和7年3月31日)の取り組みに対する評価

①利用者増加・利用者サービス向上への取り組み

- ①利用者が心を癒し、安心した環境の下で生活が送れるように施設環境にも目を向け月1回の避難訓練、年1回の不審者対応訓練、防犯カメラの常時確認等、安全管理の強化を継続的に行ってています。
- ②新規利用者の積極的な受け入れに力を入れ、令和6年度は年間で9世帯を受け入れ内3世帯は広域での入所に繋げる事ができました。その結果、年度初めに目標とした法定定員20世帯(暫定なし)を次年度に繋げる事ができました。
- ③今年度2人目の心理担当職員1名を配置しました。地域支援を主として子育ての相談や依頼があれば医療機関への同行支援等を行い、退所後も切れ目のない支援の提供を行う事ができました。
- ④年2回「要望解決定例会」を開催し、寮内の要望苦情の報告をもとに、第三者を交えて改善への取り組みを検討しました。
- ⑤年に2回全居室点検を上田市福祉事務所に依頼しています。居室内の不備や修繕箇所が無いかを確認することで、利用者が暮らしやすいように環境を整えています。食中毒などが発生する時期には居室点検の後、衛生管理についてのおたよりを個々に周知しています。
- ⑥大学教授に研修講師をお願いし、事例検討会を実施しました。第三者からの意見を聞く事で支援の振り返りができ、利用者への支援の向上に繋げることができたと思います。

②経費節減に対する取り組み

- ①各居室の照明をLEDに変えることで消費電力の削減に取り組みました。

③その他

- ①感染症予防のため、全世帯にマスクと手指消毒液・ハンドソープ等の配布を行いました。また、定期的に事務所内換気を行い感染予防に努めました。
- ②エアコン利用年数が10年を超えたこともあり、各居室のエアコンの不具合が続き前年度13台の交換、今年度7台のエアコンを交換し全居室のエアコンを新しく交換することができました。

(2)指定管理業務実施上の課題

- ①築年数が古くなっている施設の改築など施設・設備更新が課題になります。建物の老朽化と浴室が共同ということもあってか入所希望があっても見学後に入所に繋がる率が低くなっているのが現状です。
- ②多様化するニーズへの対応と運営の安定化、及び施設を担う施設職員の人材確保・育成の必要性を感じます。

(3)次年度以降の取り組み

- ①特別な支援を必要とする母親や子供の入所が増えている中、職員は母子に対して養育・支援及び助言が適切に行われるよう研修を通して必要な知識及び技術の習得、維持が必須であると考えます。施設内外の研修参加及び実施に向け職員が参加できる環境を整える事や研修内容を経験年数に合ったものを提供していくなどの配慮をし、研修の充実を目指します。
- ②育児疲れや体調不良等の理由で一時的に子どもの世話が難しい場合は、寮内で子どもを預かり、安心できる環境の中で母親も子もリフレッシュできる支援の提供を実施します。
- ③母子一体で支援を受ける事が出来る施設の特徴など困難を抱える母子家庭や関係機関に効果的に周知することで、母子生活支援施設が円滑に利用できるように積極的活動を行います。それには、各機関との連携強化を構築していきます。
- ④入所から退所まで切れ目のない支援が提供できるように、退所後も必要に応じて相談や医療受診に繋がるように担当職員を配置し窓口を明確にすることで地域支援の充実を図ります。

(4)その他

①利用者からの主な意見、苦情及び対応等

- ①令和6年度は年間で48件の苦情と13件の要望がありました。最も多かった苦情が利用者間のトラブルで33件、次に支援について9件、設備について6件となっています。利用者間でのトラブルでは職員間で情報共有を行い、同様の苦情につながらないように利用者に働きかけました。早期に対応した事で大きなトラブルへと発展することはありませんでした。
- 要望では1階の居室と居室の間に柵を付けて欲しい、ベランダに出る虫を駆除して欲しい等の内容があり、ラティスの設置や駆除を行っています。
- ②子ども会で「どんな活動をやりたいか」アンケートを行い、おやつ作りや外出等、子どもの意に沿った活動を取り入れました。
- ③寮内の生活がより充実するように、利用者全員にアンケートを実施しました。
アンケート結果については寮内に掲示し全体に周知しています。

②市からの改善指示に対する対応(※ 市から改善指示等があった場合のみ)